

2009.12.15 (火)

徳島新聞

やさしい
IT
総合

森川病院教授のネット講座

36

先日行われた行政刷新会議「構想日本」が新会議の事業仕分けについて、皆さんはどう思われました。政府の事業仕分けには賛否両分かれ、今回が初めてですが、地方自治体では2002年から民間のシン

クタンク「構想日本」が提唱して実施されています。

事業仕分けには賛否両論があると思いますが、各省庁の各種事業が初めて透明化されたのではなく

いでしょうか。そのため、國民が事業について考えるいい機会になります。「知らなかつた事業が、こんなにもあつたのか」と私自身も驚いています。

この事業仕分けのテレビ・インターネット中継は、情報公開という点で大きな意味のある仕組みといつていいでしょう。放送データをそのまま

インターネット中継は、情報公開という点で大きな意味のある仕組みといつていいでしょう。放送データをそのまま

もし、スーパーコンピューターの利用価値を最大限に活用すれば、データを稼働させたとしたら、膨大な保守費は国が負担しなければならないのかな」と考えてしまいます。

デジタル化すれば、データを稼働させたとしたら、膨大な保守費は国が負担しなければならないのかな」と考えてしまいます。

た。

情報技術（IT）が日本で再利用、つまり、ホームページなどで再閲覧が可能ということです。インターネット時代のいわゆるCGM（消費者生成メディア）に近い形での公開も可能となります。

今回の事業仕分けで、その際に、IT投資効率の測定基準は6年償却

会場：東京都新宿区
インターネット中継された事業仕分けの作業

注目を集めたのが「次世代スーパーコンピューター事業」。私もスーパーコンピューターの利用が本当に必要なのかどう

か、よく分かりません。研究的な意味合いで、その必要性が非常にあると思います。しかし、本業が、こんなにもあつたのか」と私自身も驚いています。

